

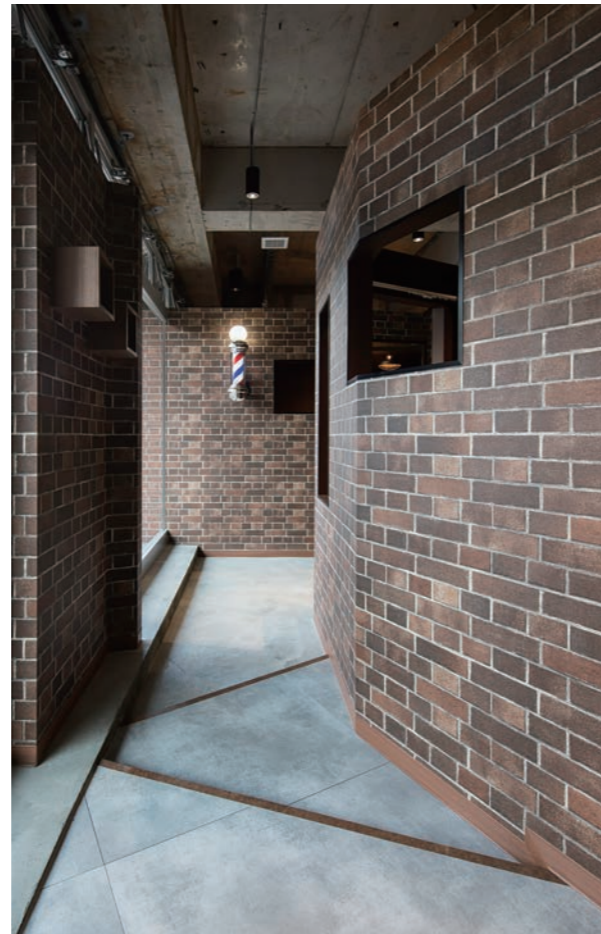


中と連続した外壁が目をひく



BAEBER SHOP BULLS CUT (ブルズ カット)

経営者／後藤 英明
〒134-0083 東京都江戸川区中葛西 2-27-11
サニーレジデンス 1F
TEL03-6808-0838



中なの以外の様な空気感がお客さまを迎える



個室と通路で雰囲気切り変わる



ゆったりとして重厚感漂う技術ブースはすべて個室

個室ならではのゆったり感に 重厚さをプラス

小径の先に3室

完全個室のメンズ専門理容室「BULLS CUT」(後藤英明オーナー)は、東京メトロ・東西線の葛西駅から徒歩6分の葛西橋通りと環七の交差点(長島町交差点)に位置している。中に入るとレンガの壁に囲まれた通路が続いており、ヨーロッパのパサージュを思わせる。小径の先にはダークカラーの重厚感漂う個室が3室。3室とも広さはほぼ同じで、落ち着いた空間づくりをしている。それぞれにフルフラット仕様の最新リクライニング理容椅子を導入している(現在は、技術者が2人のため稼働は2部屋)。

都心のベッドタウンに

店舗のある江戸川区葛西は都心に近く(官庁街の大手町まで地下鉄東西線で16分)、ベッドタウンとして、駅前には大きなマンションが建ち並ぶ。物件探しで葛西を選んだのは、後藤オーナーの地元であり、土地勘があったから。駅からも近く、大通り沿いのこの物件は、家賃も予算内だったという。「ここならば思い描いていた店舗ができる、と直感しました」と話す。

理容にあこがれて

店名「BULLS CUT」のBULLとは、雄牛のこと。店名からも男っぽさ・男くささを

を出したいと考えて、選んだ名前である。

後藤オーナーは美容学校に入学したが、授業の一環で理容を学び、理容がかっこよく魅力的に感じた。やってみたくなり、美容学校を卒業後、理容学校に入学し直して理容師免許を取得した。卒業後は、美容室に2年間勤務し、その後、理容室で5年働き、2021年2月に「BULLS CUT」をオープンした。5年で独立開業をするというのは、当初からの目標であった。

美容室との差別化を図る

学生時代から通い続けた高級感のある理容室が個室で、とてもリラックスできたことも理容の魅力であり、高級感のあるゆったりとした個室にすることは最初から決めていた。また、個室内のスペースを広くとることができたため働きやすく、カットだけではなくリラクゼーションメニューを豊富に用意することができた。シェービングやケアメニューなど、「理容」を押し出して美容室との差別化を図っている。

若い世代も来店

ターゲットは20代後半〜40代の男性だが、20代前半のお客さまも多い。Webのサロン検索・予約サイトに掲載しており、その効果はかなり大きく、オープンしてみても理容の需要はかなり高いことを再認識し、その魅力が若い世代にも広まりつつあると、実感している。Webサイトには、初回のケアメニュー



右が後藤オーナー



レンガ壁とインドアサインポールが活きるエントランスまわり

data

改装年月 / 2021年2月
 面積 / 46.28㎡
 椅子台数 / 3台
 設計施工 / タカラスペースデザイン株式会社
 タカラベルモント株式会社
 営業時間 / 平日 12:00 ~ 23:00
 祝祭日 10:00 ~ 21:00
 おもな客層 / 20台前半 ~ 40台後半が約8割
 理容料金 / カット 5500円、カラー 5000円 ~
 パーマ 5500円 ~
 カット+ヘッドスパ 6600円 ~



3つある技術ブース(個室)はほぼ同じレイアウト

地域No.1を目指す

が安くできるクーポンをつけているので、ケアメニューを勧めやすく、受け入れられやすい。そのケアの良さを知って、リピート客は同じメニュー、またはランクアップしたメニューを希望する。後藤オーナーは、技術だけでなく、個室と最新機器の導入がリピートやランクアップにつながっているとみている。

今後の計画については「理容の良さを広めるために、この界限に店舗展開をして地域No.1店を目指しています。管理できる範囲は3店舗とみていて、まずは3店舗経営が目標です」と話す。また、「理容師は給料、安いよね」と言われがちですが、オーナーとなったからには、売上げはスタッフに還元していきます。理容という職業が憧れとなって、理容師になりたい人が増えるよう、さまざまなしくみも変えていきたいと思っています」と力強く語った。